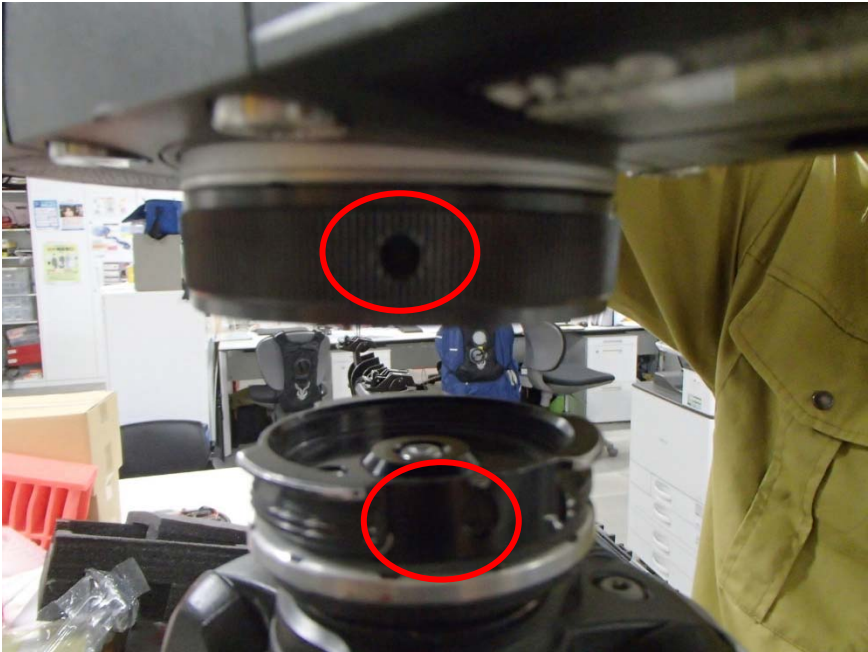
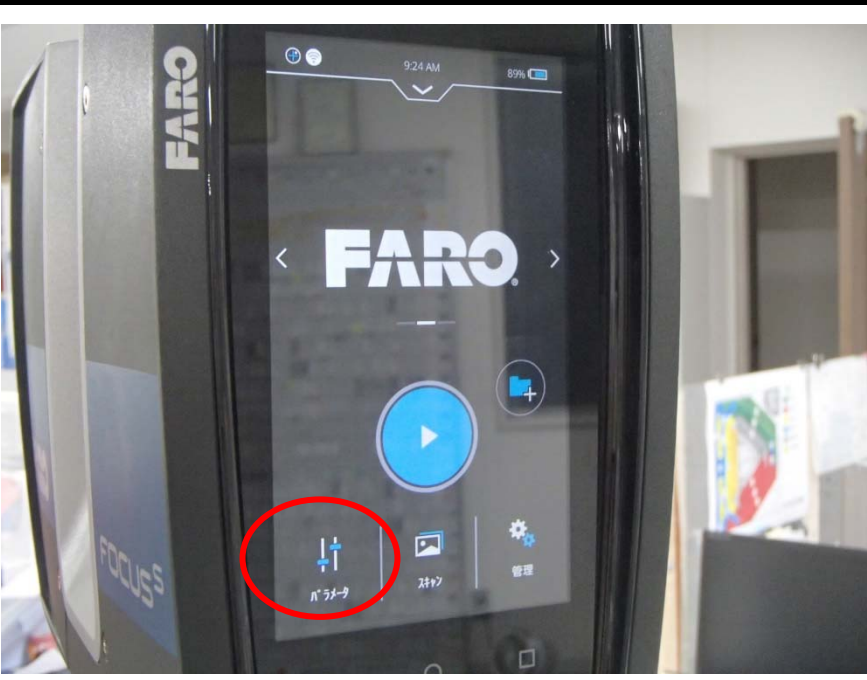
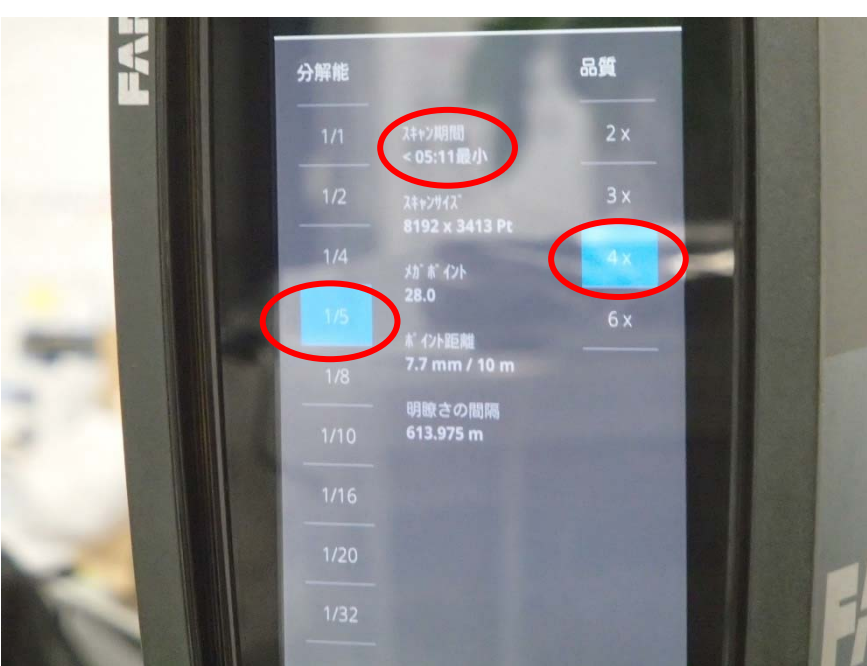
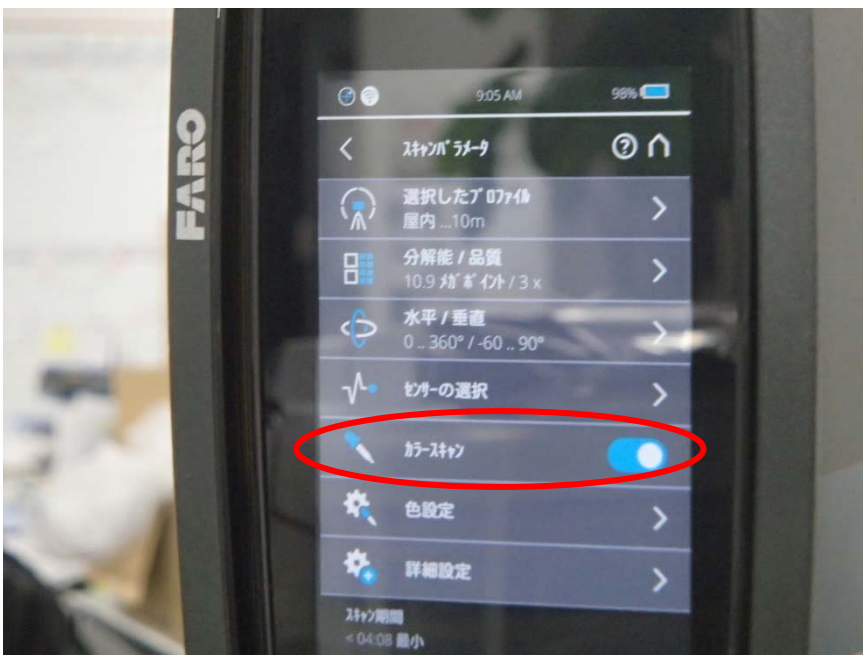
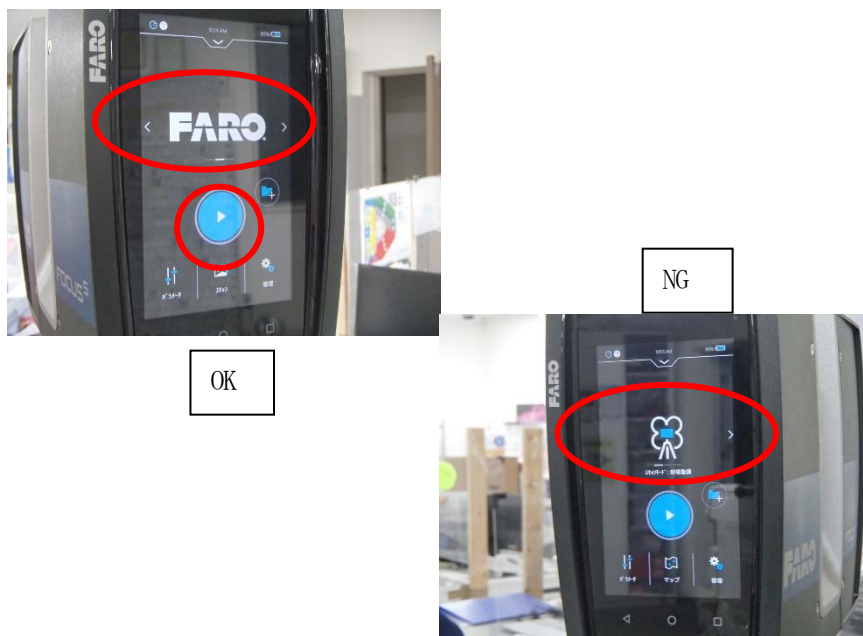


No.1 ・ 三脚の脚を最大まで伸ばす ・ 三脚の天端は非常に大切な部分なので、天端を下に向けて床につけたりしないこと ・ 脚の延長ロックを解除して重力で伸ばすイメージで ・ 最大まで広げて置けば、ほぼ水平が取れる ・ 体重をかけるようなイメージで、三脚が固定されたことを確認する	
No.2 ・ 本体下部のねじ込み部側面の丸穴と、三脚天端ねじ込み部側面の●を合わせて、ねじ込んでセットする	
No.3 ・ 本体中央部のミラーカバーを外す	

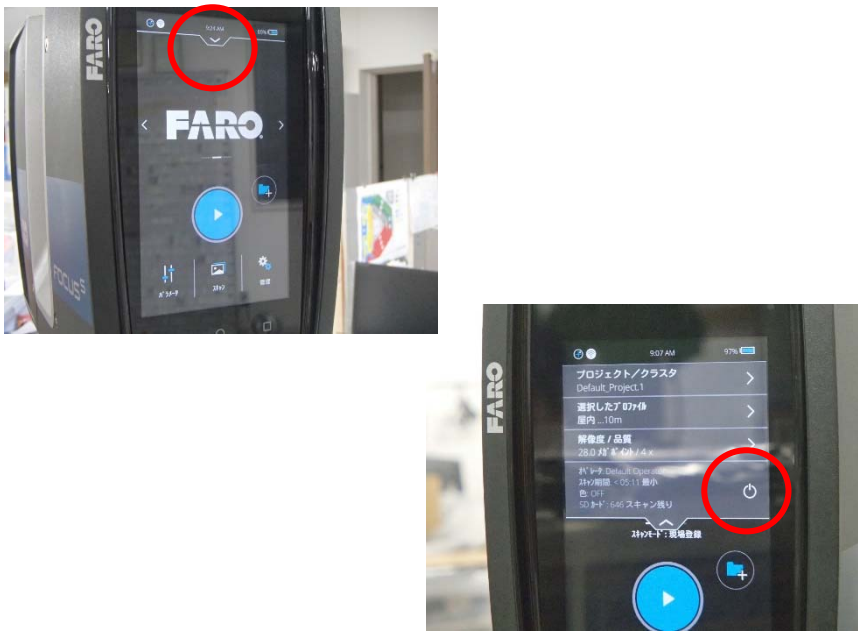
No.4 • 本体が固定されたことを確認したうえで、三脚エレベーターを最大高さまで上げて固定する • 三脚本体と同じように、エレベーターも固定を確認する	
No.5 • 本体下部のつまみをスライドさせて、カバーを開き、バッテリーをセットする • バッテリーを外す際は、バッテリー側面のつまみを内側につまみ、引っ張る • SD カードは、バッテリーの右下にあり、押し込むと飛び出てくる • バッテリーのもちは、満タンで約半日程度	
No.6 • 本体天端のスタートボタンを3秒ほど長押しして、起動させる	

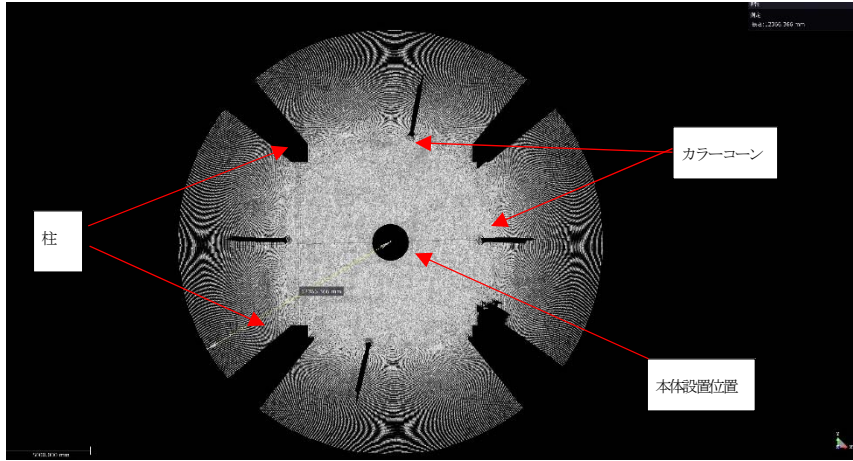
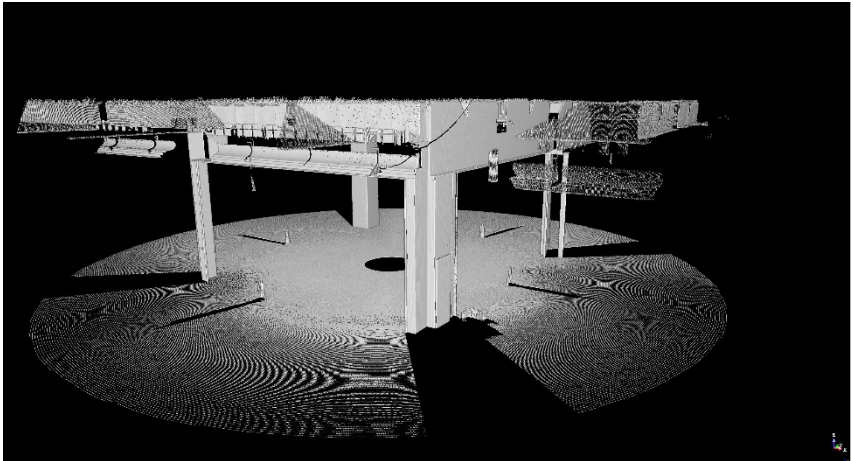
No.7 ・ホーム画面 ・右下の「管理」をタッチする	
No.8 ・「管理」→「センサー」→「傾斜計」をタッチする	
No.9 ・傾斜計(チルト)がグレー色表示であることを確認する (三脚がある程度水平設置されれば自然とこの状態になる) ・傾斜がつくと、グレー→黄→赤と変化する	

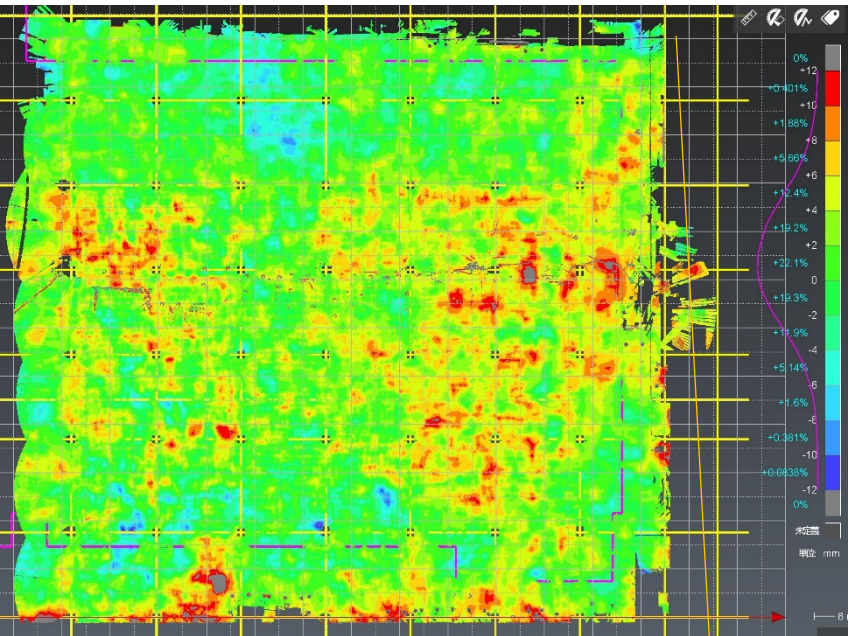
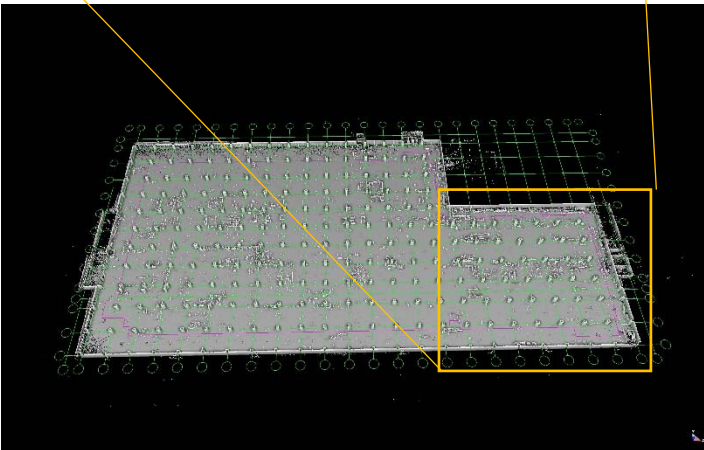
No.10 - ホーム画面 - 左下の「パラメータ」をタッチする																					
No.11 「パラメータ」→「分解能/品質」をタッチする																					
No.12 - 左側「分解能」を「1/5」に、右側「品質」を「4X」に設定する - 他の項目(パラメータ)をいじってなければ、中央上部の「スキャン時間」が「05:11 最小」で表示される - もし、ここで 05:11 秒でなければ、他のパラメータが違っていることになる	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>分解能</th> <th>品質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1/1</td> <td>2 x</td> </tr> <tr> <td>1/2</td> <td>3 x</td> </tr> <tr> <td>1/4</td> <td>4 x</td> </tr> <tr> <td>1/5</td> <td>6 x</td> </tr> <tr> <td>1/8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1/10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1/16</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1/20</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1/32</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	分解能	品質	1/1	2 x	1/2	3 x	1/4	4 x	1/5	6 x	1/8		1/10		1/16		1/20		1/32	
分解能	品質																				
1/1	2 x																				
1/2	3 x																				
1/4	4 x																				
1/5	6 x																				
1/8																					
1/10																					
1/16																					
1/20																					
1/32																					

No.13 「No.11」の「パラメータ」画面で、「カールスキャン」がオフになっていることを確認する(写真はオンの状態)	
No.14 - ホーム画面 - 上段が「FARO」表示になっていることを確認する (FARO の左右△で左側をタッチして三脚の画面でスタートすると、終了時にエラーが出る) - 中央の△をタッチするとスキャン開始(ミラー回転)	
No.15 - スキャン開始 - スキャン時間 05 : 11 表示を確認して、柱陰に隠れる - スキャンエリア内に第三者が立ち入らないよう、監視する - ミラーで測定するので、パネル正面・対面に立っていればスキャンに影響ない	

No.16 ・スキャン終了 ・プレビュー画面 ・保存番号を記録する ・パノラマ写真のような画像で表示されているのがスキャンデータ	
No.17 ・記録野帳 ・保存番号を記録	
No.18 ・移動 ・本体の底(ねじ込み部)を持ちながら、三脚ごと持ち上げて移動し、水平設置する ・機器設置位置(ブロック中心位置)は、目測で良い(見上げの小梁を目安に移動・設置すると楽)	

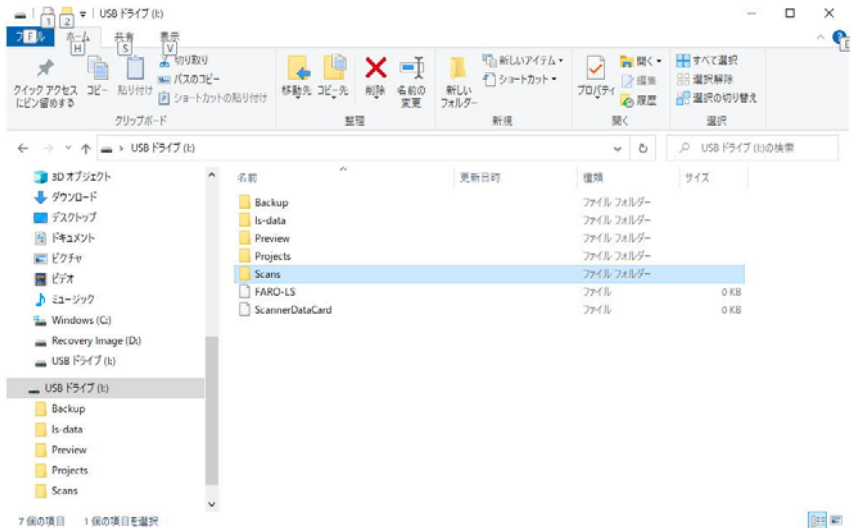
No.19 ・シャットダウン ・ホーム画面上部の下向き▽をタッチ ・電源ボタンをタッチすると確認画面になるので、シャットダウンを選択する ・電源ボタン長押しでもシャットダウン可能	
No.20 ・補正用ターゲットマーク ・ターゲットマークをFL+1000 高さに、テープ貼りする ・床水平レベルに施工精度誤差があるので、レーザーレベルで出た墨の高さで貼る ・当日作業全体の中で3～5 カ所程度で良い ・作業前に貼り、作業終了時に回収する	
No.21 ・注意点① ゴミ ・ゴミで計測値が変わってしまう為、スキャン前に掃除をする ・千葉みなと物流センタでは3mmの段差がNG	

No22 ・注意点② 資材・障害物の移動 ・資材や障害物は隣接ブロックの中心(機器設置予定位置)より外に移動させる ・機器設置位置の真下は計測できないので、隣接ブロックからのスキャンを統合することでデータ化するため、障害物があると、陰になってしまい、計測できない	
No23 ・注意点②補足 ・スキャンデータ 2D 画像 (NG 例) ・本体設置箇所の真下や障害物等の背後は、影のようになりデータが取れない ・カラーコーンで区画する際は、なるべく外側で区画する	
No24 ・注意点②補足 ・スキャンデータ 3D 画像 ・円外周の色が薄いのは、スキャン密度(ピッチ)が広がるため 隣接ブロックの機器設置予定箇所付近(スキャン円半径約10m 外周)では、スキャンピッチが50mm程度に広がるので、隣接ブロックからのスキャンが重要になる	

No25 ・ 注意点③ 水たまり ・ 床に水たまりがあると、測定値に誤差が生じるので、NG (写真程度の濡れ具合でも NG)	
No26 ・ データ統合 2D 画像 ・ 8×7 ブロックのデータを統合し、平坦度をカラー表示した 2D 画像 黄色・赤が FL 基準より凸部 青が凹部を表す	
No27 ・ データ統合 3D 画像 ・ 現地 2 階の測定データを統合した 3D 画像 黄色枠エリア (8×7 ブロック) で約 1.5 日ほどの作業	

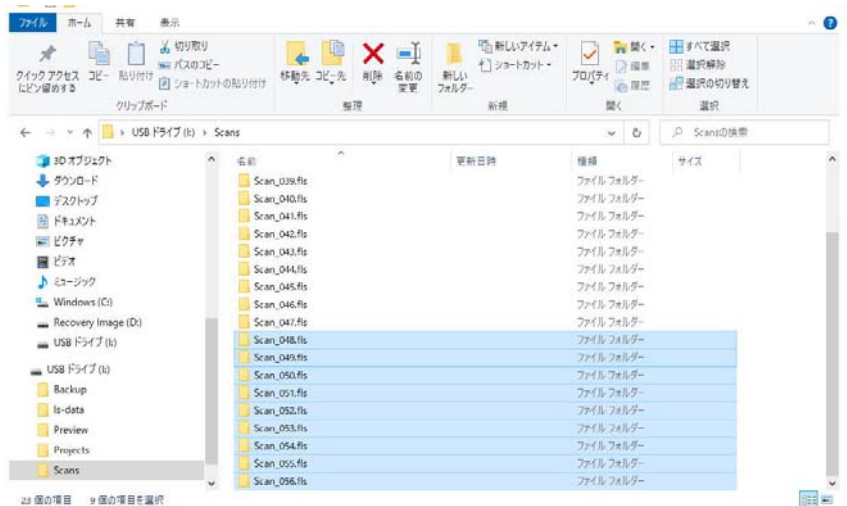
No28

- ・SDカード
- ・「Scan」フォルダを開く



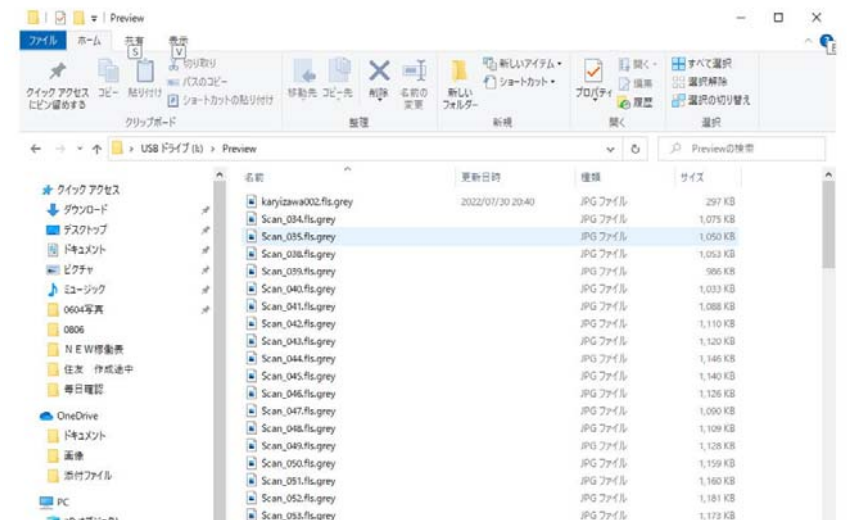
No29

- ・SDカード
- ・保存No.データでフォルダがあるので、保存No.フォルダ全てコピーする



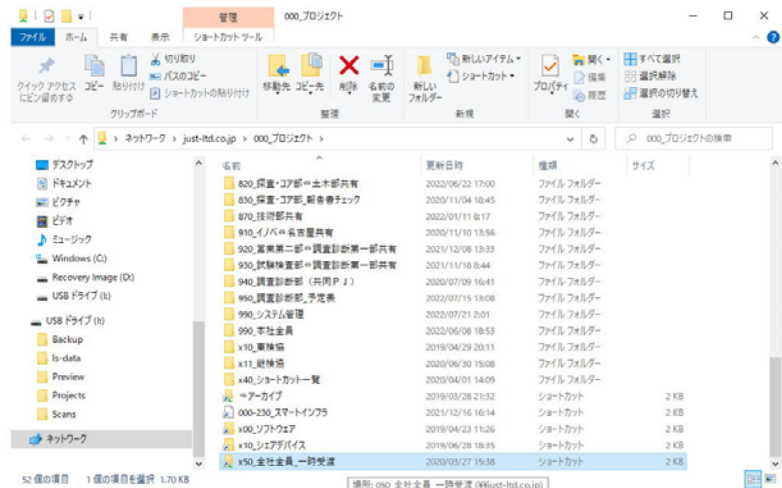
No30

- ・SDカード
- ・「Preview」フォルダを開く
- ・保存番号の jpg ファイルも同じようにコピーする



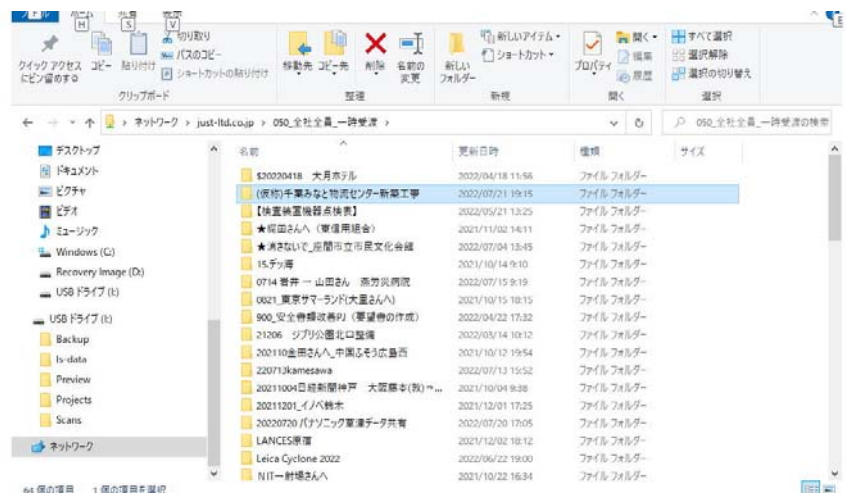
No.31

- ・データ受け渡し
- ・サーバー内
000_プロジェクト
↓
x50_全社全員_一時受渡
↓



No.32

- ・x50_全社全員_一時受渡
↓
(仮称) 千葉みなと物流センターのフォルダ内に、日付ごとにフォルダを作成し、データを入れる
- ・一日の作業が約 5GB ほどのデータ容量で、ホテル Wi-Fi 環境にもよるが、データ移動に約 2~3 時間かかる(部屋を出ると電気が切れるタイプは注意)



No.33